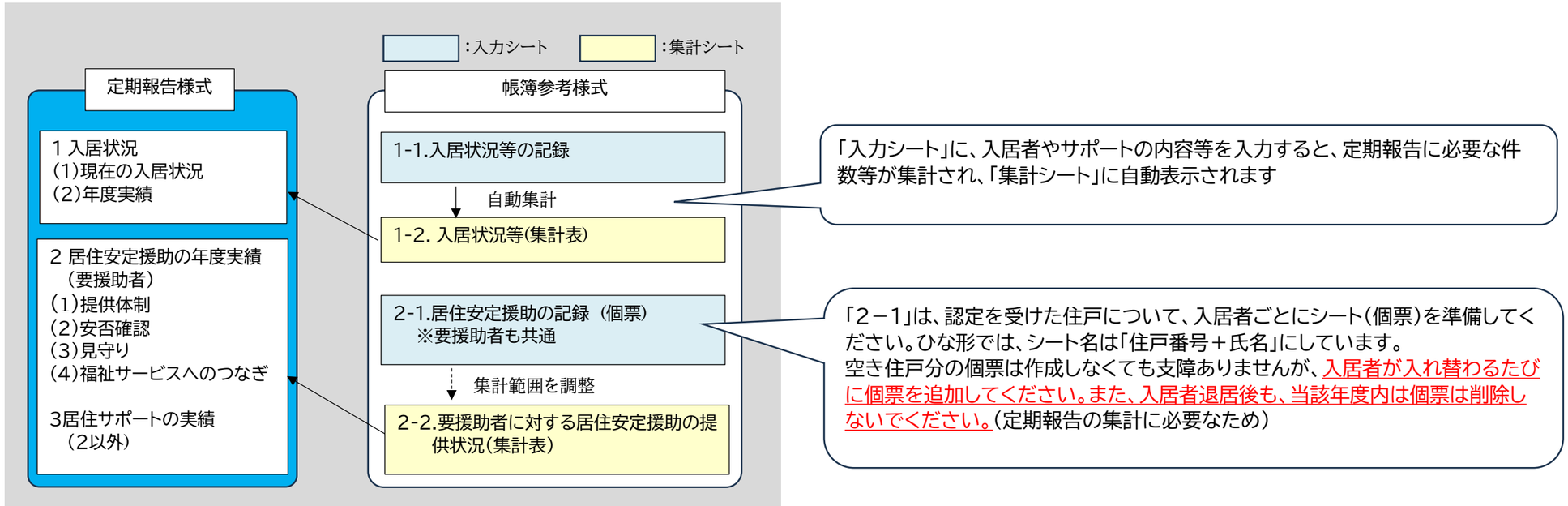
帳簿(参考様式)の使用方法について

【参考様式について】
この参考様式は、居住サポート住宅について認定事業者に作成・備え付けが義務付けられている「帳簿」のひな形として作成したものであり、これ以外の形式で帳簿を作成することも可能です。

【記入例について】
以下のケースについて、記入例(緑字)を記載しています。
・居住サポート住宅認定戸数:7戸(うち、専用住宅:2戸、非専用住宅:5戸で認定。101、103、104、201、202、203、204)
・運用開始時は101と103を専用住宅として運用。その後、101に要援助者以外の者が入居したため、専用住宅の位置を変更し、101は非専用住宅として、103と104を専用住宅として運用。

手順①　ファイル内に、必要なシートを準備する
〇以下図のとおり、参考様式のEXCELファイルは、「1-1」～「2-2」の4種類のシートで構成されています。
〇このうち、認定事業者において事業の実施状況について入力が必要となるもの(入力シート)は、シート「1-1」「2-1」の2種類です。シート「1-2」「2-2」は、入力された内容をもとに、定期報告において必要な情報が自動集計されるシート(集計シート)です。(ただし、2-2のつなぎ先は入力が必要です)
〇また、シート「2-1」のみ、居住サポート住宅として認定を受けた住戸について、入居者ごとにシートが必要になります。ひな型では7戸分用意していますが、必要分をコピーして使用してください。
〇サポート住宅が複数棟ある場合は、住戸番号を棟名＋住戸番号にする等、適宜入力してください。(例:1-101、2-101)

■ファイルのシート構成



手順②　帳簿を作成する
(1)シート「1-1.入居状況等の記録」の作成
○見出しが水色の列に、必要事項を入力してください。見出しがオレンジ色の列は自動入力されます。
○空き住戸も含めて、認定を受けた全住戸について入力してください。
○サポート住宅が複数棟ある場合は、住戸番号を棟名＋住戸番号にする等、適宜入力してください。(例:1-101、2-101)
○入居者が退居し入れ替わった場合や、専用住宅・非専用住宅の種別を変更する場合は、入居者や種別が変更となった後の内容について、新しく行を作成して記載してください。変更前の内容を記載した行は、「住宅の提供期間」の「終了日」を入力すると、表示がグレーアウトされます。定期報告における当該年度の入居状況の累計をカウントするため、変更前の行を上書きして記載したり、行を削除することは行わないでください。
○上記のとおり、「住宅の提供期間」の「終了日」を入力すると、表示がグレーアウトされるため、最新の入居状況のみ表示させたい場合は、フィルタ機能を用いて「着色無し」を選択してください。

入力が必要　　入力不要(自動入力)　　入力が必要　　入力不要(自動入力)

住戸番号	住宅種別	住宅の提供期間		入居者	入居期間		要援助者	専用住宅チェック	サポート期間		提供する居住サポートの内容				居住サポートの利用料(円/月or円/回)					提供方法		提供の条件	属性(要配慮者は重複可)							要配慮者
		開始日	終了日	氏名	入居日	退居日			開始日	終了日	安否確認	見守り	つなぎ	その他の内容	合計額※	安否確認	見守り	つなぎ	その他	安否確認	見守り		低額所得者	被災者	高齢者	障害者	子育て	その他要配慮者	要配慮者以外	
															※設定している場合															
101	専用	2025/10/1	2026/1/31	○○	2025/10/1	2026/1/31	○	OK	2025/10/1	2026/1/31	○	○	○	通院付添	¥5,000				¥1,000	機器	訪問				○					○
101	非専用	2026/2/1		□□	2026/2/1		-	OK	2026/2/1		○	○	-	なし		¥2,000	¥2,000			機器	訪問				○					○
103	専用	2025/10/1		△□○	2025/10/1		○	OK	2025/10/1		○	○	○	通院付添	¥5,000				¥1,000	機器	訪問				○					○
104	非専用	2025/10/1	2026/1/31	●◇	2025/10/1	2026/1/31	○	OK	2025/10/1	2026/1/31	○	○	○	なし	¥4,000					電話	訪問				○					○
104	専用	2026/2/1		空き			-	OK						なし																-
201	非専用	2025/10/1		◇○	2026/2/1		-	OK	2026/2/1		-	○	-	買い物支援			¥2,000		¥500	-	訪問					○				○
202	非専用	2025/10/1		□◇	2025/10/1		-	OK			-	-	-	なし						-	-								○	-
203	非専用	2025/10/1		○△	2025/12/1		○	OK	2026/1/1		○	○	○	なし	¥5,000					機器	訪問				○					○
204	非専用	2025/10/1	2025/11/30	空き			-	OK						なし																-
204	非専用	2025/12/1		□○	2025/12/1		○	OK	2026/1/1		○	○	○	なし	¥4,000					電話	訪問		○			○				○
住戸記入チェック	OK		年度計	サポ住入居戸数	8		5							3									1	0	5	2	0	0	1	
				要配慮者	7						要援助者以外	1	2	0								うち要援助者	1	0	4	1	0	0		

住戸記入チェック欄
入居者の有無に関わらず、すべての住戸が1行ずつ表示されていない場合は「NG」と表示されます。
退居または住宅種別を変更して入居がない住戸も、行を作成してください(入居者名の欄に「空き」と入力してください)。

専用住宅チェック欄
「住宅種別」が「専用」である住戸について、入居者が要援助者でない場合は「NG」と表示されます。住宅種別を「専用」から「非専用」に変更するとエラーは回避されます。
要援助者が入居している住戸または空き室を「専用」に変更し、計画全体における専用住戸の提供数を、計画内容に合わせるよう運用して

行が不足する場合は、集計行との間に行を挿入してください。
※※自動入力のセルは計算式コピーが必要です(上のセルをコピーしてください)

合計欄(自動入力)
シート「1－2」に自動表示する、定期報告に使用する集計行です。この2行は削除しないでください。
また、行を追加して入力した場合は適宜集計範囲を確認ください。

手順②　帳簿を作成する
(2)シート「2-1.居住安定援助の記録」の作成
〇手順①にも記載のとおり、入居者ごとにシートを作成し、見出しが水色の箇所に、必要事項を入力してください。要援助者に限らず、居住サポートを提供した住宅確保要配慮者については全員分の作成が必要です。
〇シート名を「住戸番号＋氏名(シート「1-1」と同じ表記)」にすると、見出しがオレンジ色の箇所は自動入力されます。

住戸番号・氏名
シート「1-1」及びシート名と同じ表記としてください。

訪問の頻度は入力が必要

2-1.居住安定援助の記録(個票)

■入居者情報

住戸番号・氏名	101	〇〇	要援助者	〇

※要援助者以外(詳細な件数集計はしない)も個票は共通

ｻﾎﾟｰﾄ内容	安否確認	機器	見守り	訪問	月1回	つなぎ	〇	その他	通院付添

緑字：入力　　青字 ：自動表示

年月日	安否確認(異常検知の対応記録)						見守り(実施した日に〇)	福祉サービスへのつなぎ						その他の居住サポート	対応内容等の記録	対応者
	異常検知	異常検知後						自治体		自治体の相談機関		民間事業者等				
		入居者異常なし	入居者異常あり	うち死亡	対応あり	対応なし		つなぎ先	〇:新規 ●:継続	つなぎ先	〇:新規 ●:継続	つなぎ先	〇:新規 ●:継続			
2025/10/2	〇	〇													訪問の際、介護サービスの相談あり。地域包括支援センターに連絡	△△
2025/10/5							〇			地域包括	〇				訪問の際、地域包括支援センターにつなぎ、介護保険外サービスについて相談	△△
2025/11/5							〇								訪問の際、宅配弁当の利用を確認。心身・生活状況に変化なし	△△
2025/11/6														〇	〇〇内科への通院付添	△△
2025/12/5	〇		〇		〇										19時異常検知。20時駆け付け、室内で倒れていたため、救急搬送し、一命をとりとめる。しばらく入院。	××
2026/1/6							〇								退院後の自宅生活が困難なため、有料老人ホームへの転居が決定。月末退居となる。	△△
2026/1/15												〇×センター	〇		家財処分の事業者を紹介	△△
2026/1/31														〇	有料老人ホーム〇〇へ転居(引越支援)	△△
合計	2	1	1	0	1	0	3		0		1		1			

↑異常検知回数

↑新規連絡先につないだ場合は〇、継続は●とし、〇をカウント

合計欄(自動入力)
シート「2－2」に自動表示する、定期報告に使用する集計行です。この行は削除しないでください。
また、行を追加して入力した場合は適宜集計範囲を確認ください。
なお、要援助者の行のみが合計され、要援助者以外の行は集計されません。

行が不足する場合は、集計行との間に行を挿入してください。(書式はコピーされます)

手順③　集計する
(1)シート「1-2.入居状況等(集計表)」の作成
○(1)認定内容に、認定を受けた計画における居住サポート住宅の戸数及びそのうち専用住宅の戸数を入力してください。
○(2)に集計を行う時点の日付を入力してください。
　年月日を年度末にすると、定期報告に記載する項目を集計することが可能です。
　年月日を現在にすると、認定内容と提供状況が合致するか(適切に運用されているか)を「運用チェック」欄から確認できます。

1-2.入居状況等(集計表)

■全体の種別戸数　　緑字:入力　　黒字:自動表示

(1)認定内容

a.認定住宅(サポ住)	7	b.うち専用住宅	2

:定期報告項目

専用住宅:定期報告様式の専用賃貸住宅

認定住宅(サポ住):居住サポート住宅

(2) 2026/3/31 現在の住宅戸数と入居戸数

提供住宅	①認定住宅戸数	7	②うち専用住宅	2

入居戸数	③サポ住入居	6	④うち要配慮者	5	⑤うち要援助者	3	⑥空き戸数①-③	1

運用チェック(認定内容と提供状況の確認)

サポ住提供チェック(①=a かどうか)	OK	専用提供チェック(②=b かどうか)	OK	専用住宅チェック②≦⑤+⑥	OK

(3)定期報告内容(入居状況)

●現在の入居状況

認定住宅戸数①	うち専用住宅戸数②	認定住宅入居戸数③	うち住宅確保要配慮者の入居戸数④	うち要援助者の入居戸数⑤	空き戸数⑥=①-③
7	2	6	5	3	1

専用住宅チェック②≦④+⑤
可

●年度実績

認定住宅入居戸数(累計)	うち住宅確保要配慮者の入居戸数(累計)	うち要援助者の入居戸数(累計)
8	7	5

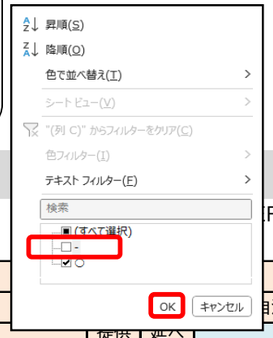
	低額所得者	被災者	高齢者	障害者	子育て	その他要配慮者
住宅確保要配慮者の入居戸数(累計)の属性別内訳	1	0	5	2	0	0
うち要援助者の入居戸数(累計)の属性別内訳	1	0	4	1	0	0

・認定を受けた計画におけるサポート住宅の戸数
・上記のうち専用住宅の戸数
・集計したい時点
を入力

シート「1-1」の合計欄から自動入力

手順③　集計する
(2)シート「2-2.要援助者に対する居住安定援助の提供状況(集計表)」の作成
○要援助者のつなぎ先を入力する　(つなぎ先以外は、2-1　個票から自動表示)
　注1:要援助者の行のみが合計される(要援助者の欄が○の行を集計)
　注2:集計行の範囲を確認する(合計の行より上が集計範囲となっているか)

フィルタ機能(▼)により、要援助者のみ表示することも可能です。
フィルタボタンをクリックし、-の☑をはずしてOKボタンをクリックしてください(右図参照)



つなぎ先の入力は要援助者のみで可
(定期報告における報告事項は、要援助者のつなぎ件数のため)
複数のつなぎ先がある場合は/を入れる等してください

2-2.要援助者に対する居住安定援助の提供状況(集計表)

■居住サポート件数等集計表(要援助者のみ)

F!と表示されますが、合計欄には　。合計欄は要援助者の行を合計しています。
青字:自動表示　:個票から自動入力　:定期報告に使用(年度計)

住戸番号＋氏名	要援助者	安否確認							福祉サービスへのつなぎ								その他の居住サポート	属性					
		提供方法	異常検知件数	異常検知後					自治体			自治体の相談機関		民間事業者等			(新規つなぎ回数　属性別カウント用)					
				入居者異常なし	入居者異常あり	うち死亡	対応あり	対応なし	提供方法	延べ回数	つなぎ先	新規回数	つなぎ先	新規回数	つなぎ先	新規回数		低額所得者	被災者	高齢者	障害者	子育て	その他要配慮者
101○○	○	機器	2	1	1	0	1	0	訪問	3		0	地域包括支援センター	1	○×センター	1	通院付添			○			
101□□	-	機器	1	1	0	0	0	0	訪問	2		0		0		0	なし			○			
103△□○	○	機器	1	1	0	0	0	0	訪問	6		0	地域包括支援センター	1		0	通院付添			○			
104●◇	○	電話	0	0	0	0	0	0	訪問	4		0	地域包括支援センター	1	高齢者住まい紹介センター/○×センター	2	なし			○			
104空き	-		#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!		###		#REF!		#REF!		#REF!	なし						
201◇○	-	-	0	0	0	0	0	0	訪問	2		0		0		0	買い物支援				○		
202□◇	-	-	0	0	0	0	0	0	-	0		0		0		0	なし						
203○△	○	機器	0	0	0	0	0	0	訪問	3		0		0		0	なし			○			
204空き	-		#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!		###		#REF!		#REF!		#REF!	なし						
204□○	○	電話	0	0	0	0	0	0	訪問	3		0	基幹相談支援センター	1		0	なし	○			○		
合計			3	2	1	0	1	0		19		0		4		3	3						

合計欄(自動入力)
定期報告に使用する集計行です。要援助者に関する内容のみ集計されます。
この行は削除しないでください。また、行を追加して入力した場合は適宜集計範囲を確認ください。

行が不足する場合は、集計行との間に行を挿入してください。
※自動入力のセルは計算式コピーが必要です(上のセルをコピーしてください)

手順④　定期報告を行う
○手順①～③により、シート「定期報告様式」に集計結果が反映されます。
○黄色セルの数字を定期報告時に活用することが可能です。

緑字：入力　　黒字：自動表示

Ⅲ　居住安定援助賃貸住宅事業の実施状況

1　認定住宅の入居状況

（１）現在の状況（2025年度末）

認定住宅戸数 ①	うち専用賃貸住宅戸数②	認定住宅入居戸数（※1）③	うち住宅確保要配慮者の入居戸数④	うち要援助者（※2）の入居戸数⑤	空き戸数 ⑥＝①−③	専用賃貸住宅の供給状況 ②≦⑤+⑥	専用賃貸住宅の供給状況不可の場合の理由等
7	2	6	5	3	1	可	

（※１）住宅確保要配慮者以外の者が入居する認定住宅の戸数を含む。
（※２）「要援助者」とは、国土交通省・厚生労働省関係住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給の促進に関する法律施行規則第14条柱書に規定する者のことをいう。

（２）年度実績（2025年度）

認定住宅入居戸数（累計）	うち住宅確保要配慮者の入居戸数（累計）	うち要援助者の入居戸数（累計）
8	7	5

（注）一の年度中に、一の住戸に２（以上）の世帯が入居した場合は、「入居戸数（累計）」は「２（以上）」と記載する。
（例：４～９月にＡ世帯、10～３月にＢ世帯が入居した場合は、「２」と記載する。）

	低額所得者	被災者（災害から３年以内）	高齢者	障害者	子どもを養育している者	その他住宅確保要配慮者
住宅確保要配慮者の入居戸数（累計）の属性別内訳	1	0	5	2	0	0
うち要援助者の入居戸数（累計）の属性別内訳	1	0	4	1	0	0

（注）一の住戸に入居する住宅確保要配慮者が複数の属性に該当する場合は、当該住宅確保要配慮者が該当する属性全てに計上する。
（例：高齢者かつ障害者である者が入居した場合は、高齢者に１、障害者に１を計上する。）
一の住戸に入居する世帯に、属性の異なる複数の住宅確保要配慮者が含まれる場合は、当該世帯の住宅確保要配慮者が該当する属性全てに計上する。（例：一の住戸に、高齢者である親と障害者である子が入居した場合は、高齢者に１、障害者に１を計上

2　要援助者に対する居住安定援助（安否確認・見守り・福祉サービスへのつなぎ）の年度実績（　　年度）

（１）要援助者に対する居住安定援助（安否確認・見守り・福祉サービスへのつなぎ）の提供体制

外部委託の有無	☑	あり	☐ なし
委託の内容	一部の要援助者(1名)に対する訪問サービス事業者による見守り		
外部委託契約書の有無	☑	あり	☐ なし
外部委託の特記事項			

（２）要援助者に提供した安否確認（１日に１回以上）の実施状況

実施方法（該当するものすべて）	☑	通信機器	☐	訪問	☑	電話
	☐	ＳＮＳ	☐	その他		
延べ異常発生回数	3	回				
異常発生後の対応結果	入居者の状況		異常あり	（1件）	⇒うち死亡件数	（0件）
			無事	（2件）		
	入居者の状況異常ありの場合の対応状況		対応あり	（1件）		
			対応なし	（0件）	⇒理由	

（３）要援助者に提供した見守り（１ヶ月に１回以上）の実施状況

実施方法	訪問	
延べ実施回数	18	回
実施状況	☑	１ヶ月に１回以上見守りを実施した
	実施していない場合の理由	

（４）要援助者に提供した福祉サービスへのつなぎの実施状況

つなぎを行った合計人数
7

新規につなぎを行った合計回数						
属性（重複可）	自治体		自治体の相談機関		民間事業者等	
	つなぎ先名	新規回数	つなぎ先名	新規回数	つなぎ先名	新規回数
低額所得者		0	基幹相談支援センター	1		0
被災者（災害から３年以内）		0		0		0
高齢者		0	地域包括支援センター	3	高齢者住まい紹介センター/○×センター	3
障害者		0	基幹相談支援センター	1		0
子どもを養育している者		0		0		0
その他住宅確保要配慮者		0		0		0

実施状況	☑	要援助者に必要なつなぎを実施した
	☑	福祉サービスにつなぐ必要がなかった
	☐	その他

3　認定住宅入居者（※1）に対する居住安定援助（「2 要援助者に対する居住安定援助（安否確認・見守り・福祉サービスへのつなぎ）」以外）の年度実績（2025年度）

提供した居住安定援助（「2 要援助者に対する居住安定援助（安否確認・見守り・福祉サービスへのつなぎ）」以外）の内容（※2）	提供を受けた認定住宅入居者数	提供を受けた認定住宅入居者の主な属性（※3）
通院付添	2	高齢者
買い物支援	1	障害者